

中学校 総合的な学習の時間の単元計画（例）【第2学年：70時間】



探究課題（例）：しいたけの生産に携わる組織や人々の工夫や努力と、しいたけを生かした地域活性化の在り方

単元の目標： 地域の特産品であるしいたけの栽培や調理、それを生かした地域活性化についての考えを発信する活動を通して、しいたけの特徴やしいたけの生産に携わる人々の思いや願いを理解し、地域・特産物と自分との関わりについて考えるとともに、将来の〇〇地区を想像しながら、すすんで地域に関わっていこうとするようにする。

単元名：しいたけの魅力発信！しいたけをもっと食べようプロジェクト（仮）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
小単元1（30時間）			資質・能力			小単元2（20時間）			資質・能力								
<p>【小単元1のめあて】 しいたけってどんな食べ物？？</p> <p>【課題の設定】 ・大分で生産されているしいたけの種類を紹介する。（全国生産量に占める割合等） ・しいたけの生産量や消費量等のデータ、しいたけに対する生徒アンケート結果等を提示して、しいたけについて興味関心をもたせる。</p> <p>【情報の収集】 ・しいたけについての情報を文献や体験活動等を通して収集する。 ・GTを招聘したり、体験活動などを通して、地域の生産者等との関わりをつくる。 ・地元の婦人会等が提供するしいたけ料理を食べてみる。 ★体験活動等の様子はタブレットで撮影する。</p> <p>【整理分析】 ・しいたけについて調べたことや、体験活動を通して分かったこと、考えたことを、視点を決めて整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・茶話会を開催し、地域の方を招待する。 ・茶話会の場において、調べたことや体験活動のまとめを紹介する。</p> <p>【振り返り】 ・自分たちの地域には、古くから生産されているしいたけがあり、地元では多くの人々に親しまれていることが分かった。しいたけが地球温暖化防止につながっていることも分かった。しいたけが苦手だと思っている人もいるから、おいしく食べるための方法も考えていきたい。</p>			<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>しいたけの生産に携わる人々の思いや願いが分かる。</p> <p>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>調べたことをまとめる中で、新たな疑問や課題を見いだす。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p>			<p>【小単元2のめあて】 しいたけの加工品と京都の特産品を比較して、しいたけをPRする方策を考える。</p> <p>【課題の設定】 ・しいたけをPRするために、どのような取組を進めればよいか。</p> <p>【情報の収集】 ・道の駅等に訪れている観光客を対象に、しいたけに関するアンケートをとる。 ・修学旅行で訪問する京都の特産品とそのPRの仕方について調べる。 ・自主研修において、京都の特産品を使ったお土産調査をする。 ・特産品生産に関わる人々の思いや願いを尋ねる。 ★調査活動の様子を撮影して保存しておく。</p> <p>【整理分析】 ・アンケートの結果を、視点を決めて分類・整理する。 ・自主研修で調べた結果を整理し、しいたけのPRポイントやPR方法を考える。</p> <p>【まとめ・表現】 ・多くの人たちに知らせたい内容に応じた表現方法を考える。 ・これまでの学習をまとめ、文化祭で発表する。 ※時期をみて駒打ち体験をする。</p> <p>【振り返り】 ・京都の特産品やお土産と比較することで、しいたけならではの特徴が分かった。修学旅行先の自主研修で、お土産をPRする効果的な方法も分かったため、これを参考にしいたけPR作戦を考えたい。</p>			<p>仮説を立てて検証方法を考える。</p> <p>目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</p> <p>課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。</p> <p>事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。</p> <p>目的に応じて整理したり表現したりする。</p> <p>学習の進め方を振り返り、次の学習に生かそうとする。</p>			<p>【小単元3のめあて】 しいたけPR大作戦！</p> <p>【課題の設定】 ・しいたけの効果的にPRするための取組はどのようなものがよいか。（しいたけレシピ 等）</p> <p>【情報の収集】 ・それぞれの方法についての情報を収集する。 （しいたけを使った料理、各地のお土産、京都で調べた品物の作り方など） ・実際に作ってみる。</p> <p>【整理分析】 ・実際に作ったものについて視点を決めて分析する。（味、見た目、コスト 等） ・改善策を話し合い、2回目の調理の仕方を考える。 ・発信の方法を考える。</p> <p>【まとめ・表現】 ・伝えたい相手に応じて表現方法を変えながら、効果的に伝えるように工夫する。（ICTを活用する など） ・1年間の活動に関わってくださった方々を招待して、しいたけサミットを開く。 等</p> <p>【振り返り】 ・自分たちの地域にあるしいたけをPRすることができた。いろいろな地域の特産品や、それを使ったお土産などを参考に、自分たちのアイデアを生かすことができた。もっともっとしいたけが広がってくれたらいいと思う。</p>			<p>地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。</p> <p>目的に応じて情報を収集する。</p> <p>視点を定めて情報を比較・分類・関連付け、自分たちにできることを考える。</p> <p>相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。</p> <p>地域と自分との関わりを考えながら、積極的に地域の活動に参加する。</p>		

小単元1・2を通して、しいたけについて徹底的に調べ、しいたけや生産者の思い等の情報を収集する